

## 久御山町小学生自然観察会

日 時：2019年8月5日（月）

場 所：京都府宇治市笠取 アクトパル宇治

参加者：久御山町小学生 13名 久御山町職員3名 京都府職員1名 noi-Kyoto スタッフ2名

夏休みの暑いときに午後からの自然観察会でしたので、熱中症が心配されましたが、木陰を渡る風は涼しく元気な子供たちと1時間の野外での観察と体育館での説明やクイズをしました。

集合場所に行くともう子供たちはセミの抜け殻をたくさん集めて遊んでいました。挨拶のあと「一人1匹虫をとってみよう。」という課題に男の子たちはバッタや甲虫を見つけては追いかけていましたが、虫がそんなに好きではない女の子は捕まえずもじもじしていました。「このアリ大きいし捕まえてみる？」今一つ返事が生返事、みんなが虫を追って移動していきます。困っているとエノキの下にタマムシが光っています。「これはどう？」大喜びでビンの中に入れました。その後も虫を追っての大騒ぎみんな元気です。チャノキの実をとっておさるの顔作り削れそうな石を見つけてチャの実を擦りました。「白いのでお猿には見えないけど。」という子たちに「体育館まで持っててね、猿らしくなってくるから。」

体育館に移動しながらの観察です。ビンゴの用紙を一人ずつに渡して説明。「体育館に行くまでに全部見つけてね。」簡単に見つけていきますが「[緑色の宝石]って何。」なかなか見つかりません。下見をしたときは青緑に光るセンチガネがたくさんいましたが、土の塊を探ってやっと1匹見つけました。

「これのこと？」あまり感動もなく石の壁の排水の穴をのぞいたりバッタを見つけて追いかけたり、一人の男の子がミントを見つけ「これミントでしょ？」と確認に。お母さんが好きだからとたくさん摘んでいました。日常の生活の中でどんな風に自然と触れ合っているか。周りの大人のかかわりが大きく影響していることを感じました。



体育館ではとってきた虫に名前を付けよう。「自由に名前を付けていいのだよ。」という呼びかけにみんな図鑑を開いて調べ始めます。そのあと自分のとった虫の紹介とセミクイズみんなとてもよく知っています。山の上で作ったおさるが赤くお猿らしくなっているか確かめて。ビンゴと観察した種の説明とミントのように匂いをする植物の説明をしました。(齋藤)



聞いて、見て、触って、嗅いで  
**自然探しビンゴ**  
 in 笠取

におう草や木	いろいろな形の葉	鳥の声
穴の開いた葉	黄色い花	虫や蝶
動物のいた証拠(フンや足跡)	みどり色の宝石	草木の実

年 \_\_\_\_\_  
 名前 \_\_\_\_\_  
 2019/8/5 noi-Kyoto アクトパル宇治

